

共有空間＝コモンズが切り拓く地域社会の新たな発展の可能性を探る。

小磯修二・草苺 健・関口麻奈美 等著

# コモンズ 地域の再生と創造

— 北からの共生の思想

**北** 北海道苫東地域にある工業団地の中に広がる広大な緑地、森林を、市民が協力して手入れし、ハスカップ保全や薪の生産、フットパスなど里山空間を再生させている。本書では、

- 新たな地域発展の理念、思想としてのコモンズの可能性を考察
- 苫東で実際に展開されているコモンズ概念によるオープンスペース管理について、その背景と現状を紹介、課題と展望をしめす
- コモンズの理念が息づいている国内各地の地域づくり、まちづくりの事例を紹介
- 英国のフットパス、フィンランドの万人権など世界のコモンズ的取り組みを紹介

地域づくりの新しい戦略としてのコモンズ論を展開する。

四六判上製・308頁・2600円(本体)

ISBN978-4-8329-6794-6



## 【著者紹介】

小磯修二(こいそ・しゅうじ)  
北海道大学公共政策大学院 特任教授

草苺 健(くさかり・たけし)  
(一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所 所長代理

関口麻奈美(せきぐち・まなみ)  
プランニング・メッシュ代表

## 【目次】

- 第1編 地域思想としてのコモンズ 試論
  - 第1章 なぜコモンズか  
— 新たな地域発展パラダイムに向けて —
  - 第2章 共生からコモンズへ
  - 第3章 コモンズの胎動 — 実践、伝統からの学び —
- 第2編 コモンズの地域展開
  - 第1章 苫東環境コモンズの誕生
  - 第2章 苫東環境コモンズの展開の実際
  - 第3章 苫東環境コモンズの現地からの発想
  - 第4章 コモンズと風土に関する試論  
— 結びに代えて —
- 第3編 地域づくりとコモンズの息吹
  - 第1章 潜在資源を内外の力で表現  
— コモンズで森林価値を高める  
岡山県西粟倉村 —
  - 第2章 多彩な地域資源を共有化し、生き残る地域づくり  
— 北海道浜中町 —
  - 第3章 現代に残る日本型コモンズ  
— 長野県野沢温泉の  
共有財産を守る仕組みから —
- 第4編 コモンズの旅
  - 第1章 英国のコモンズとフットパスを訪ねて  
— 「歩く権利」と「オープンスペース」を  
獲得した庶民の歴史 —
  - 第2章 フィンランド紀行  
— 暮らしに根づく「万人権」の国を訪ねて —
- 第5編 座談会  
新しい時代の「コモンズ」に向けて  
— まとめに代えて —